

個人面談の状況設定(B 型スマイル)

【作業について】

本人:怒られたくない。どんなことができるんだろう。体験でやった軽作業はできそう。

B 型:消極的だが一度覚えた仕事は確実にできるので、できる仕事はあると考えている。本人の特徴や特性を探り、いろいろな作業を提供して、可能性を見つけていけるとよいと考えている。

母親:頑張ればできることも多いと思っている。飲食店の経験を活かして練習をしてほしいと思っている。(初回担当者会議にて)

【将来への見通しについて】

本人:将来のことは、分からない。

B 型:自信がない状態が続いているので、まずは働く生活リズムをつくり、働くこと(作業時間、量、スキルなど)や社会的マナー(報連相など)等、課題の分析を行いながら、働くことの練習をしていこうと考えている。

相談:就労継続支援 B 型事業の利用によって、支援がある環境のなかで強みを活かした作業をして自信をつけることができ、働くことに前向きになれる可能性があると考えている。また、苦手な部分への取り組み方を教えてもらいながら 1 つ 1 つ着実に達成していくことで、作業意欲が高まりスキルアップができると考えている。

【社会生活について】

本人:姉弟や友人がうらやましい。でもどうしたらいいか分からないし、困っている。

B 型:就業に関する苦手意識というより、そこで出会った人からの叱責で自信が持てなくなっているため、少しでも自分に自信が持てるようになっていけると良いと考えている。また、自信をつけていく中で自分の将来を考えていけると良いと思っている。

【送迎について】

本人:自転車で通勤できるまでは、送迎を利用したい。

B 型:自転車で通勤できるまでは送迎サービスを提供し、期間は 3 ヶ月を想定している。

B 型スマイル個人面談シナリオ

登場人物:本人(米田誉)

B型サビ管(川瀬)

B型担当者(三口)

状況:初回サービス担当者会議を経て、後日スマイルで個人面談を行うことになりました。主に個別支援計画に関わるニーズの聞き取りと、利用開始までのスケジュールについての確認をします。

サビ管:誉さんこんにちは。今日は、スマイルまで来てくださりありがとうございます。

前回のサービス担当者会議で話しあったことをもとに、担当の三口も一緒に誉さんのお気持ちをもう少し詳しく聞かせていただきたいと思います。

誉さんが「スマイルでどんなことをやりたいのか、頑張ろうと思っているのか」、「どんなサポートをしてほしいのか」などについてお聞きします。また、今日お話していただいた内容をもとに、「誉さんのことをどうサポートしていくか」を考えた「個別支援計画」を作成します。作成した後は、誉さんに確認してもらいますので、そのときにはよろしくおねがいします。

この前のサービス担当者会議では言ってなかったこととか、お気持ちが変わったことなどがあつたら、遠慮なく言ってくださいね。

誉さん:はい。お願いします。(緊張気味)

※誉さんの緊張を感じて、話すスピードがゆっくりになる

サビ管:よろしくお願いします。では、この前の会議の内容を確認させていただきますね。まず、送迎については、道順を覚えるまではGHまでの送迎でスマイルに通うという話でしたが、それでよかったですか？

誉さん:はい、お願いします。

サビ管:わかりました。とりあえずは3ヶ月くらいを予定しています。道順を覚えられたら、自転車での通勤も考えられますね。乗りながら覚えられそうですか？

誉さん:たぶん覚えられるからそれでいいです。

サビ管:体験の時と同じように、月曜日から金曜日の週5日間、9時30分開始で大丈夫です

か？

誉さん：はい。大丈夫です。

サビ管：そしたら、作業は 9 時 30 分から始まり、16 時に終わります。そこから送迎車でゆのまちハウスさんまで帰ります。あと、その日の誉さんの体調や様子をこんな感じの連絡ノートで、ゆのまちハウスの職員さんとやり取りさせて頂くのは問題ないですか？（紙を見せながら説明する）

誉さん：僕も書かないとだめですか？

サビ管：この前の会議でも少しお話しさせていただきましたが、連絡ノートは、職員同士のやり取りになるので、誉さんに書いてもらうことはありません。

誉さん：じゃあ、大丈夫です。

サビ管：では、仕事の内容ですが、体験の時は軽作業中心にして頂きましたが、他の作業のご希望はありますか？

誉さん：軽作業はしたいです。

サビ管：分かりました。他の作業も見学してもらいましたが、興味を持った作業はありましたか？

誉さん：う～ん・・・分かりません。でも、できなかった時に怒られたくないので、難しいのは嫌です。

サビ管：サービス担当者会議の時に、お母さんから前のスーパーやアルバイトの経験などを活かしながら練習してほしいというお話がありましたが、どんなお仕事をしていたのですか？

誉さん：スーパーは、お総菜をパックに詰めたり、レジをしていました。

三口さん：ちなみに、お総菜の仕事はどんな内容でしたか？

誉さん：うーん・・・パックに詰めたり、並べたり・・・掃除もしていました。

三口さん:いろいろしてたのですね。その仕事は楽しかったですか？

誉さん:楽しい…うーん…、怒られなかった…。

三口さん:そうですか。その後のレジの仕事はどうでしたか？

誉さん:辛かったです。

三口さん:もしよかったら、辛かった理由を教えてくださいませんか？

誉さん:レジのやり方とかお金のこととか…、いろいろ難しかったです。できなくて時間がかかって、お客さんとかお店の人からたくさん怒られました…。すごく、辛かったです。

三口さん:しんどかったですね。辛いことを思い出させてしまって、ごめんなさい。辛かったことを相談できる人はいましたか？

誉さん:そうだん…

サビ管:店長さんとか先輩とかに、辛い気持ちは言えなかった…？

誉さん:言ってもよかったんですか？

三口さん:うん。言ってもいいんですよ。困った時に周りの人に伝えることができたり、相談し
たりできるようになるといいと思います。色々聞かせてもらってありがとうございます。

サビ管:私からもいいですか？(誉さんは頷く)

誰かに伝えることの練習として、「分からないことを聞いたり、困った時に相談することができ
る」を目標にするのはどうですか？例えば…作業したあとに、困ったことがなかったかをお聞
きする時間をつくるというのはどうでしょう？

誉さん:緊張するけど…ゆっくり話してくれるならやってみたいです。

サビ管:うまくいかないときに、どうやったらうまくできるのかを一緒に考えていけたら、と思
っています。

誉さん:はい…それなら、いいです。

サビ管:あと・・・担当者会議のときにカフェの仕事もやってみるということでしたが、どうですか？練習していくというお話でしたが、問題はないですか？

誉さん:皿洗いは怒られないからできます。

サビ管:カフェの仕事は、皿洗いの他に、接客や調理補助などもあるので、いろいろやってみるといいかなと思います。あと、近くの運送会社の倉庫で袋詰め作業などもありますが、やってみますか？

誉さん:う～ん・・・できるか分かりません。

サビ管:そうですね、わかりました。では、軽作業とカフェの作業をしながら、少しずつ練習していきましょう。

三口さん:ちなみに、働く練習をして、こんな生活をしたいとか、何か目標はありますか？

誉さん:目標・・・わかりません・・・

三口さん:好きなこととか欲しいもの、楽しみなどはありますか？

誉さん: アニメが好きです。働いていたときは、グッズを買うのが楽しみでした。

サビ管:いいですね！働く練習をしながら、欲しいものを買ったり、行きたいところに出かける楽しみがあるといいですね。

誉さん:はい。

サビ管:他にこんなことやってみたいとか、こういうことを手伝ってほしいなどのご希望はありますか？

誉さん:わかりません・・・

サビ管:では、今日聞いたお話をまとめると・・・①ゆのまちハウスから自転車で通勤できるまでは送迎をしてほしい ②軽作業とカフェの作業をしたい ③分からないことを聞いたり、困った時に相談する練習をする。そして、誉さんが一番に思っているのは「怒られたくない」という

お気持ちだったと思いますが、それで合っていますか？

誉さん：はい。

サビ管：では、今日の話をもとに個別支援計画書を作成させていただきます。できたら誉さんに確認してもらいますので、お願いします。

誉さん：はい。

サビ管：今日は、いろいろなお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

三口さん：ありがとうございました。